

☆☆☆☆☆令和2年度第2回理事会議事録要旨☆☆☆☆☆

令和2年度第2回理事会は9月15日、山梨会長、向井相談役（前会長）、天野監事、一井監事、保坂常務理事が協会・会議室（上野富士ビル6階）に集合し、北海道から九州まで全国の各地区から選任されている17名の理事とWEB会議による理事会が開催されました。

（なお、理事会の審議案件、報告案件に関する資料については、理事、監事があらかじめ内容の検

討ができるよう、9月7日に各理事、監事あてに配付しました。）

また、理事会に先立ち、向井前会長から退任の、続いて山梨新会長から新任の挨拶がありました。その後、向井前会長から、協会へ寄贈していただいた「天井吊りプロジェクター」の、また山梨会長から記念品（オルゴール付置時計）の贈呈（目録）がありました。

なお、理事会の開催概要は以下の通りです。

1 開会の日時および場所

日時 令和2年9月15日（火）9：30～11：00
場所 （一社）日本機械土工協会・会議室
（上野富士ビル6階）

2 理事の現在数及び出席者数

理事現在数 18名 本人出席者数 17名



3 出席者名

（理事）	山梨 敏幸	大崎 精一郎	堤 節夫
	谷口 賢治	保坂 益男	宮本 茂
	飯島 裕幸	丸山 英彦	玉石 修介
	宮内 光則	小原 朗	石黒 靖規
	田岡 正明	土屋 眞琴	梅原 義隆
	尾木 正明	内田 勝士	
（監事）	天野 勝敏	一井 保	

4 開会次第

開会次第に則り、保坂益男常務理事の司会により、議長就任まで会議を進行した。

(1) 開会の辞

保坂常務理事が「令和2年度第2回理事会」の開会を宣した。



(2) 会長挨拶

議事に先立って山梨敏幸会長は、出席者に理事会への参加に対する謝辞を述べたあと「新型コロナウイルス感染症に対応するため、本理事会を皆様のご協力でWEB会議方式で開催することになりました。何かと不慣れな点があるかと思いますが、皆様のご協力で会議を進めてまいりたい。」とあいさつした。

(3) 退任挨拶

向井前会長（相談役）より、会長退任の挨拶があった。

(4) 新任挨拶

山梨会長より、会長新任の挨拶があった。

(5) 理事会成立宣言

（議長就任）

定款第32条1項に基づき、山梨会長が議長席に就き、議事に入る旨を宣言した。

（理事会成立宣言）

続いて議長から、事務局に本理事会の理事の出席状況の報告が求められた。

保坂常務理事から「理事総数18名中、本日の出席理事数は17名であり、定款第33条1項の規定を満たしているので本理事会は成立する」旨の報告があり、これを受けて議長が「本理事会の成立」を宣言した。

(6) 議事録署名人

議長が、議事録署名人は定款により監事と定められておりますので、本日出席しております天野監事、一井監事をお願いしたいと発言した。



5 議 事

議事の経過の要領及び議案別の議決の結果（可決、否決の別及び賛否の議決権数並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

1 報告事項

議長から事務局に対して報告事項について説明を求められたので、保坂常務理事から以下の通り、配付資料に基づいて逐次説明が行われた。



(1) 総務委員会関係について

①WEB 会議による令和 2 年度第 2 回理事会の開催に関するアンケート調査結果について [資料一]

資料一（WEB 会議による令和 2 年度第 2 回理事会の開催に関するアンケート調査について）に基づき、全理事を対象に WEB 会議ができる環境にあるかどうかを調査した結果、全理事からできる環境にある、との回答をいただいたので今回 WEB 会議方式で理事会を計画した。

②令和 2 年度第 1 回理事会以降の事業経過報告について [資料二]

資料二（令和 2 年 4 月以降事業経過報告）に基づき、令和 2 年 4 月 27 日に開催された労働安全委員会（書面会議）から、同 8 月 28 日に開催された技術委員会技術研修会WGについて

また（一社）建設産業専門団体連合会関係の行事等の開催概要について。

③令和 3 年度春の叙勲（I 類の部）、褒章、候補者の推薦について [資料三]

資料三（令和 3 年春の叙勲・褒章推薦依頼について・叙勲候補者推薦要領・叙勲及び褒章の推薦における留意事項について）に基づき、令和 3 年春の叙勲・褒章について推薦の依頼があった。

④令和 2 年度会長表彰の表彰者について（功労表彰） [資料四]

資料四（令和 2 年度永年精勤表彰・功労表彰候補者名簿・一般社団法人日本機械土工協会功労表彰規程）に基づき、永年精勤候補者 9 社 36 名、功労 3 号候補者 3 社 7 名、功労 4 号候補者 1 社 1 名の書類審査結果について。

⑤特定会員会費・特定技能外国人受入負担金収入について [資料五]

資料五（特定会員会費・JAC 受入負担金収入の推移）に基づき、8 月現在の特定会員社数は 88 社、特定技能外国人数は 44 名で毎月増加傾向にある。また、コロナの影響で 1・2 級建設機械技術検定試験（学科・6 月実施予定であった。）が中止になり、当協会が実施している主に学科合格者を対象にした実地準備講習会の受講者が極端に減少した。

(2) 合理化委員会関係について

①地区合理化委員会の開催結果について [資料六]

資料六（地区合理化委員会の開催について）に基づき、東北地区、中部地区、近畿地区、九州地区で開催された地区合理化委員会の開催状況について。

②国土交通省北陸地方整備局との災害協定の締結について [資料七]

資料七（品確法と建設業法・入契法（担い手 3 法）R1 改正時の概要・災害時における災害応急対策業務に関する協定書）に基づき、国土交通省北陸地方整備局との間で進めている災害協定の概要について。

③第43回経営研修会の担当委員会での協議概要について [資料—8]

資料—8（第42回経営研修会・第43回経営研修会）に基づき、担当委員会として第43回経営研修会を開催するための進捗状況について。

（3）労働安全委員会関係について

①令和2年度会長表彰の表彰者について（優秀功績従事者表彰） [資料—9]

資料—9（令和2年度優秀功績者表彰候補者名簿・一般社団法人日本機械土工協会優秀功績者表彰規程）に基づき、機械運転施工候補者9社18名、機械保守整備候補者4社4名、施工運営管理候補者7社21名の書類審査結果について。

2. 審議事項

（1）創立50周年（令和3年）に向けた行事等について

①記念誌の発刊について [資料—10]

議長が案件についての説明を求めたので、保坂常務理事が資料—10（日機協創立50周年記念誌（企画案）・日機協のあゆみ）に基づき、「本会は昭和46年に創立されており、来年50年を迎えることになる。30周年の時には「日機協のあゆみ」を発刊しているが、このたびは31年目からの協会のあゆみをまとめて記念誌として出版したい」と説明した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、記念誌を出版することを承認した。

②式典開催の有無について（例・第10回通常総会時（令和3年5月25日）、令和3年度理事会時（令和3年12月）等） [資料—11]

議長が案件についての説明を求めたので、保坂常務理事が資料—11（創立30周年記念式典）に基づき、



協会会議室におけるWEB会議画面

「平成14年5月に開催された通常総会のあとで、創立30周年記念式典を開催している。50周年記念式典が開催できるかどうか、新型コロナウイルス感染症拡大状況の関係で見通しが難しい。開催するとなると会場確保など事前の準備が必要となるので、開催の有無の判断を会長に一任してほしい」と説明した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、式典開催の有無を会長に一任することを承認した。

（2）第43回経営研修会の開催の有無等について

[資料—12]

議長が案件についての説明を求めたので、保坂常務理事が資料—12（第42回経営研修会・第43回経営研修会（案））に基づき、「担当の合理化委員会が第43回経営研修会を開催するための（企画案）を作成し、会場を仮押えしている。講師等の選定もあるが新型コロナウイルス感染症の関係で見通しが難しい。会場も開催前2か月までに判断しないとキャンセル料が発生するので本案件も開催の有無の判断を会長に一任してほしい」と説明した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、第43回経営研修会開催の有無等を会長に一任することを承認した。

(3) 令和2年度第3回理事会(12月9日)の開催方法及び勲章、国土交通大臣顕彰等受章者の受章祝賀会の開催の有無について [資料-13]

議長が案件についての説明を求めたので、保坂常務理事が資料-13(令和元年勲章・大臣顕彰等受章祝賀会(次第))に基づき、「第3回理事会は12月9日に予定されている。また、例年理事会後に勲章、国土交通大臣顕彰等受章者の受章祝賀会を開催してきた。ただし、本案件も新型コロナウイルス感染症の拡大状況の見通しが難しい。そのため、第3回理事会の開催方法、祝賀会開催の有無についても判断を会長に一任してほしい」と説明した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、令和2年度第3回理事会の開催方法及び勲章、国土交通大臣顕彰等受章者の受章祝賀会の開催の有無について、会長に一任することを承認した。

(4) 令和2年度会長表彰、表彰式の開催の有無及び伝達方法について [資料-14]

議長が案件についての説明を求めたので、保坂常務理事が資料-14(一般社団法人日本機械土工協会第8回通常総会次第)に基づき、「例年会長表彰は通常総会の会場で実施していたが、本年は「書面総会」となり、実施できなかった。賞状を推薦の会員

企業へお送りし、伝達は会長に代わり各企業の代表者より手渡していただくこととしたい」と説明した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、案件を承認した。

(5) 定款に定める『入会及び退会規程の整備について』 [資料-15]

議長が案件についての説明を求めたので、保坂常務理事が資料-15(一般社団法人日本機械土工協会入会及び退会規程 別表1・入会申込書に記載する主要事項 別紙・入会手続き 別表2・会費)に基づき、「3月に開催した理事会において「特別会員」の名称を「特定会員」にすることに決定した。決定に基づき入会及び退会規程を整備した」と説明した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、定款に定める『入会及び退会規程の整備について』を承認した。

(6) 新入会員(賛助会員)の承認について

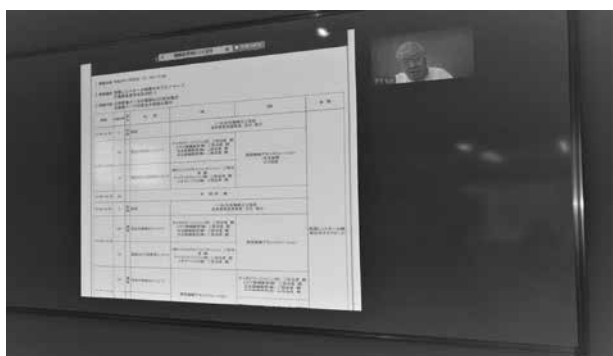
[資料-16]

議長が案件についての説明を求めたので、保坂常務理事が資料-16(加入申込書、一般社団法人日本機械土工協会加入申込書調書(賛助会員用))に基づき、「新光重機株式会社(千葉市)より、賛助会員として入会の申込みがあったので、関係の書類を添えて上程したい」と説明した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、新光重機株式会社が賛助会員になることを承認した。

3. その他報告事項

議長から事務局に対して、その他報告事項について説明を求められたので、保坂常務理事から以下の通り、配付資料に基づいて逐次説明が行われた。



WEB会議での説明資料画面

(1)技術委員会の事業について

①令和2年度建設機械施工技術検定試験受験準備講習会の開催結果について [資料-17]

資料-17（令和2年度 建設機械施工技術検定（実地）試験受験準備講習会種別受講者集計表）に基づき、本年度は6月に開催予定の「1・2級建設機械施工技術検定学科試験」が新型コロナウイルス感染症の影響で延期になった。しかし、8～9月の実地試験は実施することになり、そのために実地の準備講習会を例年通り実施したが、令和元年度の講習会の受講者合計は782名であったものが、本年度は199名と激減した。

②令和2年度技術研修会の開催について

[資料-18]

資料-18（令和2年度技術研修会の開催について（案）令和2年度技術研修会プログラム）に基づき、11月20日、千葉県佐倉市・西尾レントール(株)東日本テクノヤードにおいて建設機械の安全・技術研修会（野外）を計画している。ご参加をお願いしたい。

③ICT土工研修の開催について [資料-19]

資料-19（ICT土工研修 第1回ICT土工研修）に基づき、富士教育訓練センターと共催で令和2年度第1回ICT土工研修（41時間・6日間）を計画している。ご参加をお願いしたい。

(2)労働安全委員会の事業について

①登録機械土工基幹技能者講習の開催について

[資料-20]

資料-20（登録機械土工基幹技能者講習関連資料（1.令和2年6月登録機械土工基幹技能者講習実施状況 2.令和2年度登録機械土工基幹技能者講習実施予定について 3.登録機械土工基幹技能者講習資格保持者数の推移））に基づき、令和2年6

月26日～28日において登録機械土工基幹技能者講習を実施した結果、受講者数752名、合格者582名であった。

また、次回後期の登録機械土工基幹技能者講習については12月11日～13日に、札幌、盛岡、宇都宮、東京2会場、静岡、名古屋、大阪、松江、福岡の全国11会場で実施する予定。なお8月26日現在の資格保持者数は8,042名となっている。

②登録土工基幹技能者講習の開催について

[資料-21]

資料-21（1.令和2年2月登録土工基幹技能者講習の実施について 2.令和2年9月登録土工基幹技能者講習応募状況 3.令和2年度登録土工基幹技能者講習開催予定）に基づき、2月15日～16日に実施した登録土工基幹技能者講習の受講者数は161名、合格者は134名であった。

また9月26日～27日に開催する登録土工基幹技能者講習の8月26日現在の受講予定者数は241名である。今年度の開催予定は令和2年9月26日～27日（上半期）並びに令和3年3月6日～7日（下半期）札幌、仙台、東京2会場、静岡、名古屋、大阪、福岡の8会場で実施（年2回）する予定。

③建設労働者育成支援事業について [資料-22]

資料-22（厚生労働省建設労働者育成支援事業について、建設労働者育成支援事業に係る訓練生ご勧誘のお願い、建設機械オペレータコース）に基づき、厚生労働省建設労働者緊急育成支援事業を、（一財）建設業振興基金の事業として、令和元年度まで5年間実施した。令和2年度より3年間にわたって、建設労働者育成支援事業として、富士教育訓練センターを会場にして、建設機械オペレータコース（取得資格・車両系（整地等）、車両系（解体）、不整地運搬車、ローラー運転、小型移動式クレーン、玉掛、無人航空機操縦資格・定員15名）を実施することになった。

第1回目は11月8日～12月12日であり、会社説明会を11月28日（土）に開催する。

第2回目は令和3年1月12日～2月13日であり、会社説明会を1月30日（土）に開催する予定。

④建設キャリアアップシステムについて

[資料-23]

資料-23（1.現状と課題 2.料金改定案 3.建設キャリアアップシステムの利用促進に関する取組について 4.キャリアアップシステムの料金改定（案））に基づき、建設キャリアアップシステムの課題について。

⑤特定会員の加入報告について [資料-24]

資料-24（特定会員名簿）に基づき、担当の労働安全委員会が審査（4月27日開催の委員会で6社、6月12日同14社、7月17日同12社、8月27日同5社）し、入会を承認した計37社の概要について。

⑥特定技能外国人の登録支援の実施状況等について [資料-25]

資料-25（特定技能外国人の登録支援の実施状況等について）に基づき、現在6社より45名の登録支援の申込みがある。登録支援料金は1名につき月2万円を設定する。

⑦特定技能外国人「土工」の国内試験の実施等について [資料-26]

資料-26（特定技能外国人「土工」の国内試験の実施等について）に基づき、9月15日（本日）、富士教育訓練センターにおいて、国内に在住する外国人44名を対象にして、特定技能外国人「土工」の国内試験を実施している。採用の希望は協会まで。

⑧海外建設技術・技能実習生の受け入れ状況について [資料-27]

資料-27（海外建設技術・技能実習生の受入実習実施に関する事業）に基づき、9月15日（本日）現在の在留状況は、2か国より、延べ20社で104名の技能実習生、また建設就労者は2か国、3社、31名が在留している。

⑨令和3年度春の叙勲（Ⅱ類の部）候補者の推薦について [資料-28]

資料-28（令和3年度春の叙勲・褒章推薦依頼について）に基づき、令和3年度春の叙勲（Ⅱ類の部）候補者の推薦については、プライバシーに係わる事案なので、恒例により会長に一任した。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、案件を了承した。

=====◇=====◇=====◇=====

以上が令和2年度第2回理事会の議事要旨です。

（文責・保坂益）

